

(案)

沼津市戸田造船郷土資料博物館
移転整備基本構想

沼津市教育委員会

目 次

1 経 緯	1
2 沿 革	2
3 現 状	2
(1) 立地	
(2) 施設	
(3) 展示収蔵	
(4) 教育普及活動	
(5) 情報発信	
(6) 管理運営体制	
4 基本構想	4
(1) 基本理念	
(2) 基本方針	

資 料

1 施設の現況	(資)1
(1) 平面図	
(2) 機能別の面積	
(3) 来館者の状況	
2 代表的な収蔵資料	(資)4
3 地域にある関連施設等	(資)6

1 経緯

戸田造船郷土資料博物館は、駿河湾を臨む戸田地区の御浜岬の先端に位置し、日本初の近代的洋式帆船「ヘダ号」の建造や、プチャーチン来航からはじまる日露友好交流の歴史などを後世に継承するとともに、地域の学習拠点として活用が図られてきました。

昭和 42 年にヘダ号の建造地とプチャーチンの遺品が静岡県史跡の指定を受けたことを契機に、旧戸田村の各所に残された造船に関わる遺品を収蔵展示する施設の建設機運が高まり、ソビエト連邦政府(当時)をはじめ、日本造船工業会など民間企業や住民(全 208 者)からの寄付を受けて、日露友好交流のシンボルとして昭和 44 年 7 月 1 日に「戸田村立造船郷土資料博物館」として開館しました(昭和 62 年 4 月に「駿河湾深海生物館」を併設)。

その後、平成 17 年 4 月 1 日の沼津市と旧戸田村の合併に伴い沼津市に移管され、「沼津市戸田造船郷土資料博物館」と改称しました。平成 19 年 11 月 30 日には、ディアナ号・ヘダ号の模型などの収蔵品が、経済産業省の近代化産業遺産に認定されました。また、令和元年 7 月 1 日に開館 50 周年を迎え、記念式典や企画展などを開催しました。

さらに、「ヘダ号」は非現存船ではありますが、我が国における洋式船建造の礎となった帆船であることから、後世に残すべき重要な技術や事象を示すものと評価され、令和元年 7 月 19 日に(公社)日本船舶海洋工学会のふね遺産に認定されました。

本施設には、地域の貴重な文化の保存、振興及び継承を図るためのさらなる利活用とともに、地域内にある関連する歴史資源や観光資源との連携を図り、地域の貴重な資産を市内外に発信していくことが求められています。

しかしながら、昭和 44 年に建てられた本施設は、建築から 50 年以上が経過し、経年劣化が顕著となっているだけでなく、現在の耐震基準を充たしていない公共施設であり、大規模地震による建物の倒壊等の危険性があります。また津波浸水想定区域内に所在し、有事の際には津波の直撃も想定されています。

令和 3 年 3 月に策定された沼津市個別施設計画では、本施設の「サービスは継続し、現在の場所からの移転を踏まえた更新について検討を進める」と方針が決定されたことから、令和 3 年度から 4 年度にかけて、戸田造船郷土資料博物館協議会において意見を伺い、「これからの博物館のあり方」としてとりまとめました。この「あり方」を踏まえ、令和 5 年度において本移転整備基本構想の策定に着手しました。

2 沿革

- | | | |
|----|-----|---|
| 昭和 | 44年 | 戸田村立造船郷土資料博物館開館 |
| | 45年 | 博物館登録 |
| | 57年 | 博物館内に駿河湾深海生物館開館 |
| | 62年 | 駿河湾深海生物館新館建設 |
| 平成 | 12年 | 開館30周年記念式典及び特別展示開催 |
| | 17年 | 戸田村、沼津市との合併に伴い、沼津市戸田造船郷土資料博物館と改称 |
| | 19年 | 経済産業省の近代化産業遺産に認定 |
| 令和 | 元年 | 開館50周年記念式典及び企画展開催
ヘダ号が日本船舶海洋工学会のふね遺産認定 |

3 現状

(1) 立地

- ・ 戸田地区の駿河湾を臨む御浜岬の先端に位置
- ・ バスの戸田停留所から2,700m
- ・ 津波災害警戒区域内に位置し、静岡県第4次地震被害想定による基準水位は2～4m(本施設は海拔約3m)
- ・ 御浜岬は、夏期には海水浴場を開設

(2) 施設

- ・ 所在地 沼津市戸田2710-1
- ・ 建築年 昭和44年
- ・ 構造 鉄筋コンクリート造3階建
- ・ 建築面積 247.9㎡
- ・ 延床面積 518㎡(1階ピロティ・倉庫を含む:724㎡)

(3) 資料収集・保管機能

- ・ 収蔵資料は485点(県指定45点、市指定2点)
- ・ ヘダ号に関連する常設展示と、年3～4回の企画展を開催しているほか、松江古墳出土品、プチャーチンの遺品等の県指定文化財を収蔵

(4) 展示機能

- ・ ディアナ号模型、ヘダ号設計図、大工道具、ヘダ号模型(近代化産業遺産認定)
- ・ 大阪万博でソ連館に展示されていたステンドグラス
- ・ ディアナ号の錨(市指定文化財)、日ソ友愛の像、大工土碑(横須賀造船所の初代大工士・所長となった上田寅吉の頌徳碑)などの屋外展示

(5) 教育普及活動

- ・ 学校等の団体見学
- ・ タカアシガニお面づくり体験の実施

(6) 情報発信

- ・ 市ホームページ、文化振興課フェイスブックの活用
- ・ 博物館だよりの発行
- ・ 富士市・下田市など関連市町との連携・情報共有
- ・ 各種研究団体や研究者等からの問合せへの対応
- ・ 各種メディアへの資料提供

(7) 管理運営体制

- ・ 沼津市教育委員会事務局文化振興課に所属
- ・ 入館料は大人 200 円、小人 100 円、20 名以上の団体 2 割引
- ・ 職員は、館長及び学芸員(兼務)の正規職員2名、会計年度任用職員2名の計 4 名



4 基本構想

(1) 基本理念

「日本の近代造船の発展に寄与したヘダ号建造と、
戸田とロシアの友好交流の歴史を継承し、発信する博物館」

日本の近代造船の礎となった洋式帆船「ヘダ号」を、ロシア人と戸田地区住民などが協力しあって建造した史実やそれに携わった人々の活躍と、建造によって培われたロシアとの160有余年にわたる友好交流の歴史を中心に、地域に残された貴重な歴史資料及び民俗資料などと合わせて展示や紹介をすることにより、郷土の誇りとして顕彰するとともに、市内外の人々に情報を発信し、後世に引き継いでいく博物館とします。

(2) 基本方針

① 戸田地区の歴史・民俗資料の収集・保管と、次世代への継承

- ・ 戸田地区の宝として残る貴重な資料を適切に保存します。
- ・ 近代的洋式帆船建造や日露交流の歴史を後世に継承します。

② 戸田地区の歴史に対する認識を高め、理解を深める場

- ・ 郷土学習などの支援により学校教育と連携します。
- ・ 地域の人々の生涯学習や様々な団体の歴史研究を支援します。
- ・ 体験型プログラムの充実を図ります。

③ 戸田地区に残る資料の調査研究と、得られた情報の発信

- ・ 漁業・農業などの民俗資料、漁師踊・漁師唄や石丁場などの歴史資料を調査・研究し、正確な情報に基づいた展示活動を行います。
- ・ ヘダ号とディアナ号、プチャーチンに関する歴史や日露友好交流の情報を、関連市町や機関と共有・連携し、発信します。

④ 地域内資源との連携・協調

- ・ 重要文化財「松城家住宅」をはじめ、関連する歴史資源との連携を強化します。
- ・ 地域の回遊性を図り、相乗効果によるさらなる魅力づくりに寄与します。

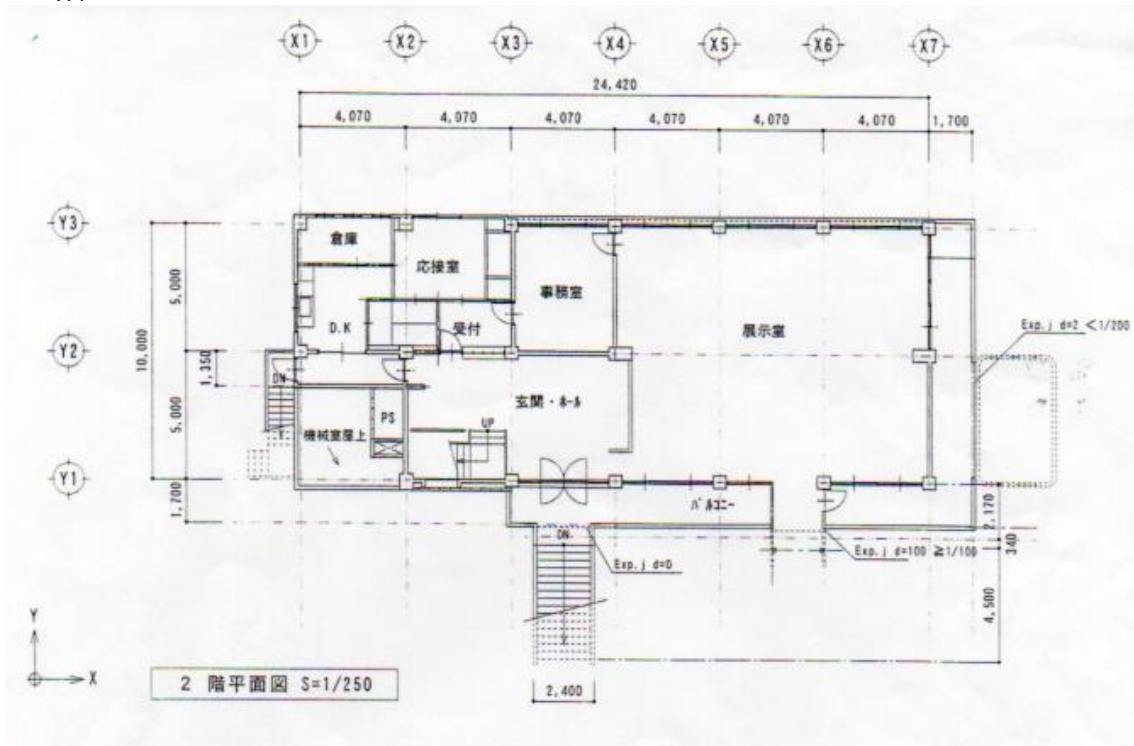
資料

1 施設の現況

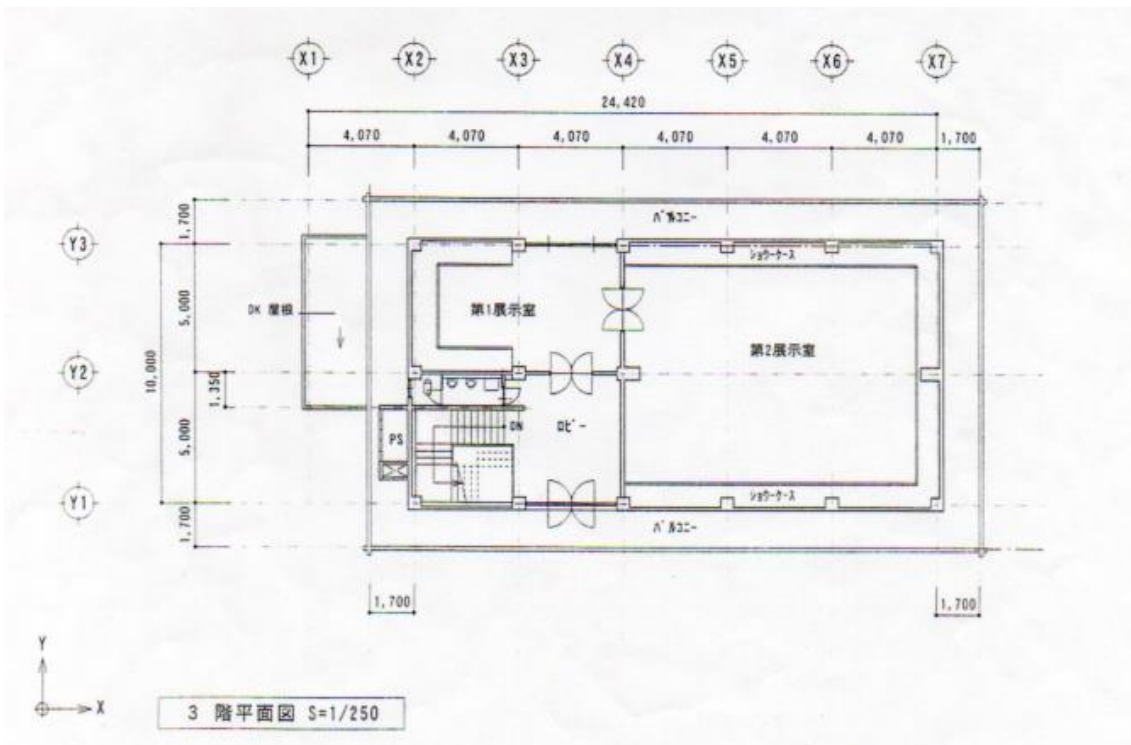
(1) 平面図

1階 ピロティ・倉庫

2階



3階



(2) 機能別の面積

① 展示関連	計 293.04 m ²	
研修室兼展示室(2階)	122.10 m ²	
第一展示室(3階)	42.38 m ²	
第二展示室(3階)	128.56 m ²	
② 事務所関連	計 64.53 m ²	
事務室(2階)	19.98 m ²	
受付・管理人室(2階)	44.55 m ²	
③ 収蔵関連	計 206.00 m ²	
ピロティ・倉庫(1階)	206.00 m ²	
④ 便益施設、供用部分、機能維持施設	計 160.40 m ²	
トイレ(1階、2階、3階)	34.38 m ²	
階段、ロビー等	83.46 m ²	
空調機械室(1階)	42.56 m ²	
<参考> 駿河湾深海生物館部分	展示室 190.71 m ²	



博物館外観



展示室内

(3) 来館者の状況

① 来館者数

令和	元	年度	9,328 人
	2	年度	6,010 人
	3	年度	6,640 人
	4	年度	7,258 人
	5	年度	7,675 人

※ 令和元年度は台風の被害による臨時休館、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大を受けた緊急事態宣言に伴う臨時休館の影響により、入館者数が減少した。

② 小中学校の受け入れ状況

令和元年度

- ・ 富士根北中学校 1・2年生 54 名 自然体験教室
- ・ 戸田中学校 3年生 10 名 姉妹都市・カラマズー施設団との交流

令和2年度

- ・ 戸田小学校 6年生 8 名 修学旅行の事前学習

令和3年度

- ・ 戸田小中一貫学校 5年生 7 名 原村交流事業の事前学習

令和4年度

- ・ 戸田小中一貫学校 5・6年生 14 名 タカアシガニ放流の事前学習
- ・ 戸田小中一貫学校 3・4年生 10 名 地域学習
- ・ 戸田小中一貫学校 3・4年生 13 名 猿渡東大助教の深海魚講座

令和5年度

- ・ 浮島中学校 1・2年生 64 名 自然教室
- ・ 土肥小中一貫学校 全学年 36 名 自然体験教室
- ・ 戸田小中一貫学校 3・4年生 8 名 地域学習

2 代表的な収蔵資料



ディアナ号の錨（市指定）



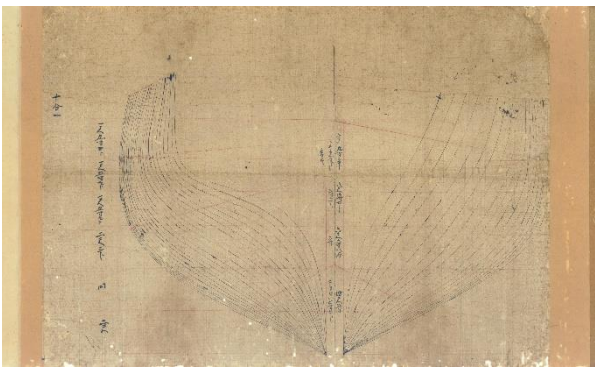
ディアナ号模型(近代化産業遺産)



ヘダ号模型(近代化産業遺産)



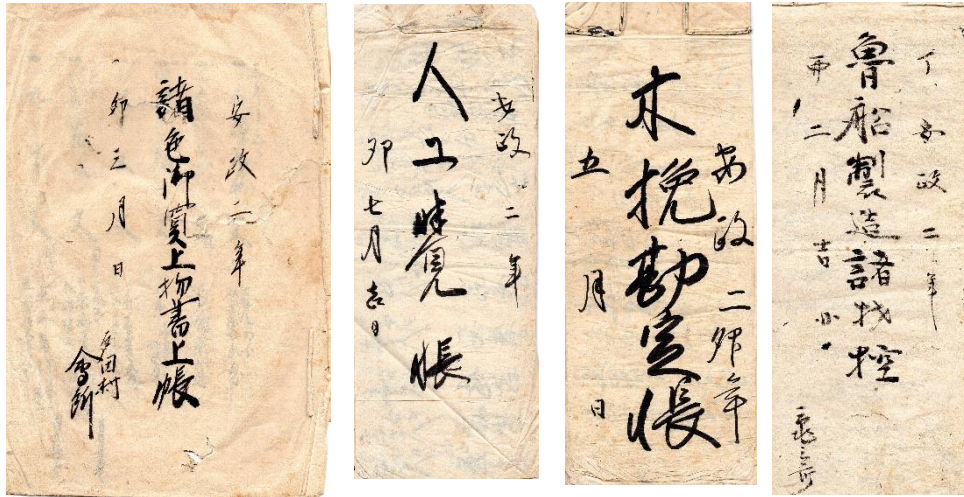
プチャーチンの遺品(県指定)



ヘダ号設計図(県指定・近代化産業遺産)



大工道具(近代化産業遺産)



露西亜船製造関連文書(県指定)



松江古墳出土遺物(県指定)

3 地域にある関連施設等

① 史跡等関係

宝泉寺(県史跡、プチャーチン宿所)、洋式帆船建造地(県史跡)
 大行寺(市史跡、日露交渉地跡)、松城家住宅(国重要文化財)、勝呂邸
 部田神社、諸口神社、井田松江古墳群(県指定)

② 文教関係

戸田小中一貫学校、戸田図書館、戸田こども園

③ 観光関係

・ 施設

戸田観光協会、沼津市商工会、戸田漁協(直売所)、くるら戸田(戸田温泉)
 プチャーチン・ロード、中央棧橋、御浜岬、海水浴場、出逢い岬、北山の棚田
 はかま滝オートキャンプ場、餐(もてなし)の里公園、富士見海岸通り

・ 食

海の幸(タカアソギガニ、深海魚等)、戸田塩、戸田たちばな

